

## ～使命の継続～

2017年3月10日発行 3月号 No. 265

### ◇温故創新セミナー（真珠湾視察研修）

#### <チェスター・ニミッツと東郷平八郎>

副本部長・物流政策副委員長 山田 正信  
〔足立支部 (株)森田商運〕

2/16～20 にロジ研主宰の温故創新海外視察研修(ハワイ真珠湾)に参加をさせて頂いた。最近、安倍首相が訪問したこともあるが、この機会を逃したら二度と来ることもないとの思いから参加をしたのだが、個人的には太平洋戦争敗戦の端緒となった地を一度は見てみたいとの思いからだ。

まずは開戦時の零戦の攻撃ルートの説明を受け、ゼロ戦を含む当時の戦闘機からつい最近まで現役であった戦闘機や戦闘ヘリコプターを見学、軍事オタクの人だけではなく、参加をしたロジ研同胞も子供のように歓声を上げて戦闘機に見入っていたのには日頃からの猛者達には微笑ましく思えたものでした(笑)。



〔戦艦ミズーリ前にて〕



〔ニミッツ像〕

其の後に戦艦ミズーリ内を見学して、一旦は引退したミズーリが湾岸戦争で復帰をして活躍したという巨大砲と実物大の砲弾、それに大戦中に神風として体当たりをしたが、不発に終わったゼロ戦の痕跡を見た。特攻隊員の遺体が見つかり、周りの乗組員からの反対を押し切りミズーリ艦長のウィリアム・キャラハンがこの敵国操縦士の名誉を思い、その自らの任務を全うしたとして艦長命により翌日水葬が執り行われた。その時の記録写真や終戦の降伏調停が行われた位置の説明を受けた後、敷地の一角で海軍カレーランチとなった。

この時、団塊世代過ぎと思われる日本人ガイド(二十歳過ぎに移住したとか)から「食べながら結構です」として説明が始まった。ミズーリ艦上にて大統領に代わり降伏調停式に臨席したのがマッカーサーと海軍元帥のチェスター・ニミッツであった。何でもニミッツが青年将校であった頃、日本海海戦において大勝した東郷平八郎を崇拝しており、偶然に代理で出席できた天皇陛下主催の晩さん会にて東郷を見かけたが、当然、陛下のお隣に座る上座の東郷に話しかけは出来ない。そこで一計を案じたニミッツがトイレで待ち伏せをして東郷に話しかける事ができた。その後、わざわざ下座まで来てニミッツをねぎらう東郷の人柄に大変な感銘を受けたのだという。

終戦後、横須賀にある東郷の乗っていた戦艦<三笠>が荒れ果ててダンスホールに使用されていたのを知り、激怒したニミッツが歩哨兵を立てて警備をさせ、米海軍から多額の資金を調達し、さらに私費を投じて<三笠>の修理費を提供した事により寄付金募集運動の切っ掛けとなった事で<三笠>は復元され、三笠公園と共に現在に至っているそうだ。(三笠公園にはニミッツ名で植樹された月桂樹があり、今でも公園に訪れる現役海軍兵士は必ずそこで敬礼をするとの事) また、空襲で全焼した原宿の東郷神社再建のために神社奉賛会にも多額の寄付をしたのだという。

初老のガイドが最後にあたり「ここは軍事施設の為、何かにつ

けてアメリカ国歌が流れます。その時は一般の見学者や子供でさえも直立不動で胸に手を当て、国歌斉唱する姿が見受けられます。愛国心の現れです。」「私の主観ですが、今の日本では国旗掲揚や国歌斉唱に反対する風潮があります。日本人として余計な自虐史観は持たずに愛国心を忘れないでください。」「ハワイの真珠湾ガイドとして日本を思うところがあるのでしょうか…これには参った！

### ◇「後記」

副本部長・広報委員長 中村 克敏  
〔城東支部 (株)中彦運送〕

広報委員長を仰せつかっております、中村です。

平素は「ひびき」発行に際しまして、多大なるご協力、ご理解を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、2017年2月26日(日)「東京マラソン2017」に初めて参加をさせて頂きました。東ト協では、公称?6名の勇者が参加をし、熾烈なレースを展開し4名がみごと完走を成し遂げました。ちなみに、私は25.7kmの関門で「名誉ある敗北」をし、バスに強制収容をされましたが…(涙)

沿道では多くの声援を頂きましたが、特にロジ研及び東ト協のメンバーによる応援は本当に嬉しく力になりました。給水ボランティアとして参加をしていた大島氏、村山氏、横山氏。彼らから頂いた水は、最高に美味しかったです(笑)各所移動しながら応援をしてくれた石山氏、鳥ノ海氏。彼らから頂いた氷砂糖や飴、疲労回復スプレーには本当に助かりました。後半地点で、通過を待ち望んでいてくれた伏見氏。届かなくてごめんね。その他多くの協会関係者の方からメール、ラインで応援激励を賜りました。本当にありがとうございました。

35,500人のランナーが激走する中で、東ト協のメンバーによる熱い応援は、何物にも代えがたい喜びであり、オアシスでした。走ったメンバーも応援をしてくれたメンバーも「東京マラソン」という舞台に立ち、気持ちを一つに出来た事、そして、大切な「絆」を分かち合えたことは、本当に素晴らしい体験でありました。普段は、それぞれの会社で活躍をされているメンバーですが、東ト協という組織に属した「仲間・同志」としての熱い気持ちはどんなことにも勝る力であると強く痛感いたしました。

「ひびき」は皆様の想いや、ロジ研の活動の報告や想いを掲載してまいります。

今後ともご愛読の程、よろしくお願い申し上げます。



〔中村委員長〕

### ◇スケジュール 《○ロジ研行事予定》

- 3/14(火) 15:00～ 第2回経営者実務セミナー(東ト総合会館4階)
- 3/22(水) 15:00～ 三組織連絡会(東ト総合会館7階大)
- 3/28(火) 15:00～ 正副本部長会議(東ト総合会館6階中)
- 〃 16:00～ 本部連絡会 江森副会長(〃)
- 〃 18:00～ 本部連絡会 懇親会(オステリア クロエッタ)
- 3/29(水) 15:00～ 第2回経営者セミナー(東ト総合会館4階)